

## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 昭和真空

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田中 彰一

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 042-764-0385

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,009	80.7	364	—	413	—	413	—
26年3月期第3四半期	3,324	△28.4	△326	—	△288	—	△407	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 419百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △325百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	67.06	—
26年3月期第3四半期	△66.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	10,966	5,592	51.0	908.11
26年3月期	8,709	5,078	58.3	824.67

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 5,592百万円 26年3月期 5,078百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成27年2月10日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,738	58.9	536	—	583	—	506	—	82.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	6,499,000 株	26年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	340,242 株	26年3月期	340,242 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	6,158,758 株	26年3月期3Q	6,158,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出環境の改善を背景に企業収益が上向き緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、個人消費には弱さが見られ、設備投資は足踏み状態が続くなど、全体として回復基調にあるものの力強さに欠ける状況で推移しました。他方、世界経済は米国が堅調な成長を見せ、中国も市場ごとに濃淡はあるものの全体としては緩やかに経済が拡大しましたが、欧州景気の下押し懸念や新興国経済の減速への警戒感もあり、先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、中国を中心にスマートフォン関連の需要が引き続き堅調に推移し、当社グループの主要な取引先である光学・電子デバイス業界を下支えしましたが、設備投資に関しては当社グループに対する引合いや問合せは堅調に推移しているものの、投資実行に対しては慎重な姿勢を崩しておらず小康状態が続きました。

こうした環境の中、当社グループでは、海外を中心とした好調な市場に向けた拡販に注力してまいりました。また、既存技術応用分野や新規市場の開拓にも積極的に取り組んでまいりました。

生産面では、機構の見直し等によるメンテナンス性の改善やコストダウン、社内検査の強化による品質向上に引き続き積極的に取り組むとともに、生産効率向上による原価低減に努めてまいりました。

損益面では、当第3四半期に簿価切り下げ済みの電子関連分野における真空関連装置用の仕掛部品が販売になったことにより、部品分野の売上高が増加し、総利益率を押し上げることができました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は受注高60億63百万円（前年同四半期比16.8%増）、売上高60億9百万円（同80.7%増）となりました。

損益につきましては、経常利益4億13百万円（前年同四半期は2億88百万円の経常損失）、四半期純利益は4億13百万円（前年同四半期は4億7百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### ①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、全体的にはユーザーの増産設備に対する姿勢は依然として慎重でしたが、スマートフォン関連の設備投資が堅調でした。受注高は44億56百万円（前年同四半期比2.8%増）、売上高は44億2百万円（同93.7%増）、セグメント利益は4億31百万円（前年同四半期は69百万円の損失）となりました。

業界別の状況は以下のとおりであります。

#### (水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、最新装置の拡販を中心に推進してまいりました。

水晶デバイス装置の受注高は8億88百万円（前年同四半期比20.8%減）、売上高は8億47百万円（同5.3%減）となりました。

#### (光学装置)

光学業界では、中国、台湾を中心としたアジア市場を中心に営業活動を推進してまいりました。スマートフォン向けの光学部品の増産を背景に堅調に推移しました。

光学装置の受注高は17億39百万円（前年同四半期比20.9%減）、売上高は26億73百万円（同284.8%増）となりました。

#### (電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、既存技術応用分野の開拓を積極的に推進してまいりました。ボリュームとしてはまだ十分ではありませんが、地道な活動の結果、着実に成果を積み重ねてまいりました。

電子部品装置・その他装置の受注高は18億27百万円（前年同四半期比80.1%増）、売上高は8億81百万円（同29.0%増）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに納入済みの装置に対する改良工事や消耗品の販売は計画に対して下回りましたが、当第3四半期に簿価切り下げ済みの仕掛部品が販売になったことにより、サービス事業の売上高が増加しました。

サービス事業の売上高は16億6百万円（前年同四半期比52.8%増）、セグメント利益は4億66百万円（同227.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は78億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億8百万円増加しました。これは主に現金及び預金が2億55百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が21億97百万円、仕掛品が3億72百万円増加したことによるものです。固定資産は30億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円減少しました。これは主に有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により49百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は109億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億57百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は38億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億31百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が9億2百万円、短期借入金が8億円増加したことによるものです。固定負債は15億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円減少しました。これは主に退職給付に係る負債が83百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は53億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億43百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は55億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億13百万円増加しました。これは主に利益剰余金が5億7百万円増加したことによるものです。

負債も増加した結果、自己資本比率は51.0%（前連結会計年度末は58.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成27年1月21日付「平成27年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、当社を取り巻く市場動向を踏まえ、今後の業績推移につきましてはより慎重に注視し、連結業績数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が94,805千円減少し、利益剰余金が94,805千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,343,189	1,087,646
受取手形及び売掛金	1,719,729	3,916,955
商品及び製品	3,797	2,669
仕掛品	2,063,958	2,436,540
原材料及び貯蔵品	290,986	221,835
繰延税金資産	36,953	47,986
その他	105,194	159,015
流動資産合計	5,563,808	7,872,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	757,186	722,746
機械装置及び運搬具(純額)	107,354	72,819
土地	2,109,669	2,109,669
その他(純額)	31,119	53,806
有形固定資産合計	3,005,331	2,959,042
無形固定資産		
その他	35,768	32,321
無形固定資産合計	35,768	32,321
投資その他の資産		
投資有価証券	99,594	97,722
その他	84,318	83,928
貸倒引当金	△79,741	△79,340
投資その他の資産合計	104,172	102,311
固定資産合計	3,145,272	3,093,675
資産合計	8,709,080	10,966,323

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,474,475	2,377,116
短期借入金	56,533	856,533
未払費用	140,472	178,097
未払法人税等	26,230	17,344
賞与引当金	83,167	51,376
製品保証引当金	58,000	100,000
工事損失引当金	43,200	36,500
その他	97,723	193,860
流動負債合計	1,979,802	3,810,828
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	200,000	200,000
退職給付に係る負債	515,515	432,163
繰延税金負債	25,419	22,385
その他	109,411	108,130
固定負債合計	1,650,347	1,562,679
負債合計	3,630,150	5,373,508
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	302,518	810,327
自己株式	△278,091	△278,091
株主資本合計	4,955,506	5,463,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,538	35,332
為替換算調整勘定	91,516	103,967
退職給付に係る調整累計額	△4,630	△9,802
その他の包括利益累計額合計	123,423	129,498
純資産合計	5,078,930	5,592,814
負債純資産合計	8,709,080	10,966,323



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	3,324,918	6,009,492
売上原価	2,802,398	4,653,992
売上総利益	522,520	1,355,499
販売費及び一般管理費	849,140	990,928
営業利益又は営業損失(△)	△326,620	364,571
営業外収益		
受取利息	317	574
受取配当金	248	267
受取賃貸料	8,840	9,080
保険配当金	8,305	15,287
為替差益	40,193	40,823
その他	3,159	4,770
営業外収益合計	61,064	70,803
営業外費用		
支払利息	8,588	9,631
売上割引	6,543	2,855
その他	8,186	9,002
営業外費用合計	23,319	21,488
経常利益又は経常損失(△)	△288,874	413,885
特別損失		
固定資産売却損	5,403	-
固定資産除却損	175	9
特別損失合計	5,578	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△294,453	413,876
法人税、住民税及び事業税	33,262	14,184
法人税等調整額	79,471	△13,312
法人税等合計	112,733	872
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△407,186	413,004
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△407,186	413,004

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△407,186	413,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,134	△1,205
為替換算調整勘定	67,863	12,451
退職給付に係る調整額	-	△5,171
その他の包括利益合計	81,998	6,074
四半期包括利益	△325,188	419,079
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△325,188	419,079

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,272,977	1,051,940	3,324,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,925	7,816	14,741
計	2,279,903	1,059,757	3,339,660
セグメント利益又は損失 (△)	△69,695	142,485	72,789

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	72,789
セグメント間取引消去	31,863
全社費用(注)	△431,273
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△326,620

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,402,591	1,606,900	6,009,492
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,152	15,387	47,539
計	4,434,744	1,622,287	6,057,031
セグメント利益	431,010	466,790	897,801

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	897,801
セグメント間取引消去	10,701
全社費用(注)	△543,931
四半期連結損益計算書の営業利益	364,571

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの組織管理体制の見直しに伴い、第2四半期連結会計期間より、従来「真空技術応用装置事業」に含めておりました真空技術応用装置の改造工事及び移設工事等を「サービス事業」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	847,551	94.7
光学装置	2,673,396	384.8
電子部品装置	848,844	124.2
その他装置	32,800	—
真空技術応用装置事業計	4,402,591	193.7
サービス事業		
部品販売	809,968	125.6
修理・その他	795,148	195.7
サービス事業計	1,605,117	152.7
合計	6,007,709	180.7

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

###### ②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	888,896	79.2	502,650	100.7
光学装置	1,739,460	79.1	470,616	25.8
電子部品装置	1,761,453	225.0	1,369,442	272.5
その他装置	66,333	28.5	131,533	58.9
真空技術応用装置事業計	4,456,142	102.8	2,474,241	81.1
サービス事業				
部品販売	811,752	125.7	—	—
修理・その他	795,148	378.5	—	—
サービス事業計	1,606,900	187.8	—	—
合計	6,063,043	116.8	2,474,241	81.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	847,551	94.7
光学装置	2,673,396	384.8
電子部品装置	848,844	124.2
その他装置	32,800	—
真空技術応用装置事業計	4,402,591	193.7
サービス事業		
部品販売	811,752	125.7
修理・その他	795,148	195.7
サービス事業計	1,606,900	152.8
合計	6,009,492	180.7

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。